

教育研究分野・領域の概要

分野	領域	博士前期課程	博士後期課程
文化間保健看護	保健看護管理	<p>特定「文化」をキーワードとしてマクロレベルでの新興感染症への対策、ミクロレベルでの生活習慣と価値観の異なる人々の健康生活に向けた管理的貢献、プライマリー・ケアを重視した行政的施策と費用効果、病院・病棟の疾病管理と人々の健康管理など実践的看護管理活動を分析・評価し、複雑化した課題に対応できる卓越した実践家、教育研究者養成に必要な能力の向上を図る。</p> <p>看護を取り巻く社会や科学の発達に対応して変化・発展する看護観及び看護技術が、看護者個々や集団においてどのように形成され修得されるかを学ぶ。さらに、看護基礎教育及び現任教育における教育方法の開発、看護実践における看護者の教育能力開発の方法を探究し、看護基礎教育の担い手である人材の育成や保健看護分野における実践者の教育指導能力の向上を図る。</p>	<p>文化間保健看護の立場から、特定「文化」の枠組に基づき国境を越えて個人、地域、国レベルで健康上の問題解決、新しい保健看護管理の探求、また、通文化的、あるいは特異的ヘルスケア評価、公的サービスと調整、看護ケアのコスト及びコスト効果分析（ケアの結果と質の測定）など高いレベルの分析・評価と対応策を探求する。</p> <p>保健看護実践および教育が多様な文化の影響を受けながら発展すると共に、文化へも影響を与えることを前提にした広い視野を持つ、高いレベルの保健看護教育の実践者および看護学の発展に寄与する人材育成に関する理論を探求する。</p>
	地域保健看護	<p>地域社会及びハイリスク集団を対象とした施策、計画、実施、結果、評価について学習する。また、ミクロのレベルでは地域で健康上のリスク者への保健看護実践、ヘルスプロモーション、健康教育（疾病教育）などにおいて適切な研究的アプローチを行い、最近の知識を応用し、問題解決のためリーダーとなる能力の向上を図る。</p> <p>精神保健相談時の受理面接、コンサルテーションなど専門的技術を身につけ、また、サービスの質向上のために先行研究結果を実践に応用し、活用する実践家、あるいは教育研究者となる能力の向上を図る。また、専門看護師（精神看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>上級管理者など、より高度な立場から実践活動に従事、複雑な研究テーマへの取り組み、博士前期課程の教育を行う教育者、あるいは自立した研究者として新たな学術的発展を図る。</p> <p>文化的枠組みで人々のメンタルヘルスおよびリスク者や集団のために法律・政策、条例の制定などにより高度な学術的観点から提言、同時に学術的、教育的貢献を図る。</p>
生涯発達保健看護	母子保健看護	<p>卓越した専門家として病院・地域で妊産婦や新生児及び家族に高度な専門的ケアの提供、母性の問題解決のため学際的チームの調整的役割、リプロダクティブ・ヘルス/ライツへの適切な支援の提供、ハイリスク女性・妊婦・新生児の評価と支援、実践的専門家としての指導者、あるいは教育研究的能力の向上を図る。</p> <p>高度な専門看護職者として、それぞれの職場の保健看護システムの中で小児保健看護上の課題を認識し、質の高いケア提供を計画、実施、評価し、指導的役割を果たし、また、疾病の有無にかかわらず子どもの発達状態の評価と支援技術、ケア提供の医療環境/制度に関する実践可能な好ましい方策を実施を図る。</p>	<p>母性保健看護及び助産に関して、生涯発達の視野に立ち課題をみつけ、実践・分析、評価、統合し、知見創出により実践的及び教育的、学術的に母性の健康と看護学の発展を図る。</p> <p>子どもと家族の健康上の課題の解決に既存の研究結果を応用、新たな研究課題の発見、計画・実施・評価し、新しい実践的、学術的、教育的貢献を図る。</p>
	成人・老年保健看護	<p>成人期のヘルスプロモーション、健康政策、疾病予防、リスク軽減及び急性期・慢性期の高度なケアの実践と改善、学際的な研究的活動、また、医療システムと成人期患者ケアの質の分析と評価、中間管理職のレベルで看護の質向上を図る。</p> <p>また、専門看護師（慢性看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p> <p>老年保健看護領域で、直接的なケアプランの作成と提供、ケア提供チームにおける看護実践と管理、ケアの評価とを統合・調整できる老年保健看護専門職者、同時に研究能力の向上を図る。</p> <p>また、専門看護師（老年看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>特に遠隔教育などの積極的活用によって他職種と連携し、上級管理職のレベルで医療・保健機関の管理、教育的機関での教育的活動、また、複雑なケース・マネージメントの実践、高度な学術的、教育的貢献を図る。</p> <p>高齢者のケアの質とQOL向上に向けて年代、時代にふさわしい新たな研究と知の創造をめざし看護職の立場から方法、技法の開発、実践現場への支援、自立した教育研究による学術的な貢献を図る。</p>
先端保健看護	新領域保健看護	<p>上記特定の領域に分類できない、あるいは共通する新たな看護上の課題解決方法、技術、看護上の新たな課題への研究的アプローチ、例えば臓器移植看護とそのコーディネーターとしての役割、遠隔保健看護の実践・教育研究に必要とされる知識と技術などの向上を図る。</p> <p>また、専門看護師（がん看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>保健看護上に新たに生じた課題を解決するために学術的、国際的に必要な情報を収集し、分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い、看護実践における質の向上を図る。また、各領域に共通する新たな課題をみつけ解決する先端的研究方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上の新たなニーズへの対応策を探求する。</p>
	島しょ保健看護	<p>島しょ看護の高度な実践ならびに実践的教育ができる看護指導者を育成する。保健・医療福祉専門職者が少ない島しょ地域において、看護職者が果たす役割は大きい。特に保健医療福祉、教育・行政などの幅広い多職種ケア連携・協働による保健医療福祉活動を通して、島しょ住民の生活文化に根ざした看護を実践できる高度な島しょ看護専門能力を育成することを目指す。</p> <p>また、包括的専門看護師に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>国内外の島しょ看護上の課題を解決するために学術的、国際的に必要な情報を収集・分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い、島しょ看護実践における質の向上を図る。また、島しょ保健看護に関する新たな課題をみつけ解決する方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上のニーズに対応する新たな対応策について探索する。</p>